



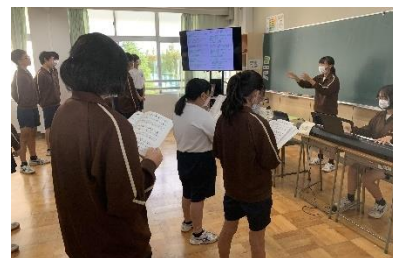
栄光の未来

R5.10.13

第14号

合唱発表会に向けて本格的に始動！

後期の大きな学校行事である合唱発表会が、10月25日（水）に新潟テルサで開催されます。これまで音楽の授業で練習に取り組んできましたが、12日（木）から合唱強調週間が始まり、いよいよ学級での練習もスタートしました。昨日は初日であったにもかかわらず、どの学級も熱の入った練習を行っており、校内に合唱の歌声が響いていました。



学級で気持ちを一つにして練習！

今年度の合唱発表会スローガンも発表されました。

令和5年度 合唱発表会スローガン

六華奏唱

～くちびるに歌を、心に華を～

全校アンケートの結果をもとに生徒会本部が検討して決定したのですが、発表されたスローガンを聞いて少しばかり驚きました。「くちびるに歌を」…後期始業式での校長講話のタイトルが、まさかスローガンに使われるとは！これは、作家の中田永一さんの著書で、中学校の合唱部を舞台とした話で、映画化もされたことについてはお話ししたとおりです。そして、もともとはドイツの詩人であるツェーガル・フライシュレンの詩の一節からきているものです。言葉の響きだけでなく、本や映画、詩の内容に触れると、そのよさをますます感じる言葉であるため、合唱の取組が本格化する前に生徒の皆さんに紹介したいと思い、講話としてお話ししました。

心に太陽を持って

ツェーガル・フライシュレン

心に太陽を持って
嵐が吹こうと 吹雪が来ようと
天には黒くも 地には争いが絶えなかりうと
いつも 心に太陽を持って
くちびるに歌を持って 軽くほがらかに
自分のつとめ 自分のくらしに
よしや苦勞が絶えなかりうと
いつも くちびるに歌を持って
苦しんでいる人 悩んでいる人には こう励ましてやろう
勇気を失うな くちびるに歌を持って 心に太陽を持って

全校の思いを込めたスローガンづくりにこのような形でお手伝いできたことに、うれしさも感じたというのが正直な気持ちです。

合唱発表会はコンクール形式で行われます。そのため、当然のことながら合唱の完成度を高めることが求められます。一人一人の頑張りに加え、各パートでバランスをとり全体の調和を生み出すことが、素晴らしいハーモニーの鍵となりますね。安易な妥協をせず、とことん高みを目指していきましょう。

もちろん、大事なことは合唱の先にある「自分(たち)の目指す姿」に迫ろうとする真摯な取組です。そこにこそ真の価値があることを常に頭に置き、充実した取組を展開していきましょう。